




---

## 海外時報

---



### 米國日食觀測遠征隊

來る6月8日(日本時間9日)の皆既日食觀測のため、米國よりは南太平洋上  
 フェニックス群島へ觀測隊が遠征する。隊長はレンダ1・マツコ1ミツク天  
 文臺長 Mitchell 教授である。一行中には海軍天文臺の J. F. Hellweg 大佐、  
 ジョ1ヂタウン大學天文臺長 P. A. Mc Nally 博士、コ1ネル大學の F. K.  
 Richtmyer 教授、キルソン山天文臺の T. Dunham 博士、其他 C. G. Thom-  
 son, C. Bittinger, J. E. Willis, 氏等並に寫眞班、無線班等が含まれてゐる。

一行はホノルルを經由して、フェニックス群島中のエンダ1ベリ1島、又  
 はカントン島に汽船で向ふ豫定である。前者の方が影の中心に近く、食繼續  
 時間は4分8秒で好都合なのであるが、觀測器械の荷上げが困難らしく、若し  
 不可能の場合はカントン島に上陸する由である。之の島でも繼續時間は3分  
 39秒である。何れにせよ、海岸にテント生活をするわけで、準備の一ヶ月間  
 は特に碇泊する船から人數の支援を受ける事になつてゐる。

觀測のプログラムは次の通り。

- (1) 接觸時の眼視及び寫眞觀測。
- (2) コロナ寫眞觀測。之れは19呎までの種々の焦點距離のカメラを用ひ、普通及び  
 赤外乾板、フィルタ1の使用等。
- (3) 凹面格子分光寫眞機を用ひて閃光スペクトルの撮影。之れには固定及び移動フ  
 イルムの装置を使用。
- (4) 種々の分光寫眞機に依るコロナ・スペクトルの撮影。
- (5) コロナの全光度測定。
- (6) コロナの偏光測定。
- (7) シヤド1・バンドの觀測。

之等の器械は他の器械等と合して、重量約10トン、100個程の荷物として  
 運搬される。